

構造見学受付中(予約制)

あまや製材

H29.6月

受付はコチラまで → 0779-65-7600 若くは takeda@amaya-co.jp

あかばまで今年度新築現場4棟進行中(全て地域型グリーン化事業補助金対象)です。そこで、進み具合の違うリアルな工事中の構造見学を随時受付致します。

各社の説明内容を比較すれば、わざわざ現場に行かなくてもいいんじゃない? と、思われている方、ちょっと待て下さい。構造現場で見るべきところはそこじゃないんですよ。構造を見ればその住宅会社の家づくりに対する姿勢がわかるから失敗しない構造見学のポイントをまとめます

1. 完成してしまうと隠れて見えなくなる場所

住宅の不具合や欠陥は、見えないところから進行してしまうものです。その部分を見せてくれるのが「構造見学」です。柱・梁・耐力面材・断熱材etc... 基礎礎の工法は? 材種や太さは? サリジは? といったことはもちろんちゃんと説明します。構造部分をしっかり見て質問してみましよう。よく知らなくても大丈夫です。どのように答えられるかも見て下さい。誠実に答えられるかどうかです

2. 整理整頓されていること

工事現場は職人にとって仕事しやすい環境でなければなりません。それは現場が整理整頓されているかを見ればすぐにおかれます。現場が危険な雰囲気を醸成して怪しくないか? これもポイントに重要です。リアルタイムで大工が仕事をしているところを見に行ったらいいです。「構造見学」は授業参観みたいなものです。さぼってないでちゃんと仕事をしているか? 大工をはじめとする職人の顔を見て下さい

3. 現場で見なくちゃわからない自社の施工レベル

どんな会社でも自社が標準とする工法や構造・断熱・耐震のレベル等は概ね決まっています。一般的に住宅会社が構造について説明するのは、この部分です。でも、実際には、それをカバーする為の細かな施工レベルがあり、注目したいのはそこなのです。例えば、防水施工。住宅会社は雨漏りさせたくないわけですが、そのために、ただ「きちんと防水してください」と指示するだけではいけません。具体的に「このように施工する」というレベル(自社の施工基準・検査基準)を定め、必要な性能を担保するレベルをつくらなくてはならないのです。とはいえ、施工精度を上げるにはそれなりの技術を持った職人が必要であり、当然コストもかかります。それぞれどの部分にどの程度干渉を入れるかはその会社次第です

ご案内できる現場

M 邸	大野市中丁	4/19 上棟	木造2階建	54坪	工研研-消費性能向上計画認定
A 邸	衰道	6/12 上棟	木造平屋建	33坪	"
R 邸	国時町	6/16 上棟	木造2階建	54坪	低炭素建築物認定
T 邸	新庄	7/11 上棟	木造2階建	45坪	長期優良住宅認定

〒912-0021 大野市中野3-8-1

TEL 0779-65-7600

FAX 0779-65-7601

E-IL info@amaya-co.jp

<http://www.amaya-co.jp/>

(株)あまや製材

平成29年度補助金

2017年に予定されている補助金をまとめました。
この計画の際のチェックリストとしてご利用下さい

新築

1. 地域型住宅グリーン化事業 — 国交省 — 今年度最終

- ① 認定長期優良住宅 上限 100万 7月中旬(採択後着工)
- ② 認定低炭素住宅 上限 100万 "
- ③ 認定性能向上住宅 上限 100万 "
- ④ ゼロエネ住宅 上限 165万 交付申請後
- ⑤ 木造非住宅建築物 1万/㎡ 7月中旬(採択後着工)

※ 地域材加算 20万、三世代同居加算 30万は継続予定
※ ゼロエネ 4戸以上実績ある工務店は上限 150万

2. ネット・ゼロ・エネルギーハウス支援事業 — 経産省

- ① 一次公募 5/19開始 6/2必着 75万/戸 定額 交付決定 → 請負契約
 - ② 二次公募 6/8開始 6/23必着 4万/1kw 蓄電システム → 着工 → 実績報告
- ※ 最終公募締切 8/8 予定 ※ 実績報告期限有

3. すまい給付金 — 給付

- ① 消費税 8%時 上限 30万 引き渡し後 1年3ヶ月以内申請
 - 消費税 10%時 上限 50万
- ※ 平成31年10月1日増税予定 経過措置あり

4. 大野市すまい支援事業 — 大野市

- ① 夕世帯同居世帯 上限 100万 費用の1/20 市内業者に限る
 - ② U・Iターン者 上限 50万 費用の1/20 事前申請要
- ※ 用途地区外 上限 1/2

1. 長期優良化リフォーム推進事業 — 国交省

- ① 認定長期優良住宅 上限 200万 費用の1/3 請負契約 → 交付申請
 - ② 高度省エネ型 上限 200万 費用の1/3 → 承認 → 解体開始
 - ③ 評価基準型 上限 100万 費用の1/3
- ※ 三世代同居加算 50万は継続予定
※ 高度省エネ型は一次省エネ消費量が新省エネ基準から 20%削減
※ 既存住宅のインスパクション必須

2. スマートウェルネス住宅等推進 — 国庫補助事業 — 今年度最終

- 福祉・健康省エネ住宅推進協議会員のみ 上限 100万 費用の1/2
 - ※ 改修工事前後の居住者の健康状況の調査に連携・協力 交付申請 → 請負契約
 - ※ 医療や福祉関係者等と連携して。 → 承認 → 解体開始
- 改修工事による健康の維持・増進の普及啓発に取り組むこと

3. 高性能建材による住宅の断熱リフォーム支援事業 — 経産省

- ① 一次公募 5/8開始 6/2必着 上限 120万 交付決定 → 請負契約
 - ② 二次公募 7/1開始 8/1必着 → 着工 → 実績報告
- ※ 実績報告期限あり

4. 大野市すまい支援事業 — 大野市

- ① 夕世帯同居世帯 上限 100万 費用の1/3
 - ② U・Iターン者 上限 50万 費用の1/3
- ※ 用途地区外 上限 1/2 ※ 中古住宅取得に対し別途要件あり
- ③ 木造住宅耐震診断等 促進事業 上限 9.5万 事前申請要
 - ④ 木造住宅耐震改修 促進事業 上限 改修方法による 市内業者に限る 事前申請要
 - ⑤ プール等除去事業 上限 5万 事前申請要

リフォーム

